

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年11月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690700028
法人名	社会医療法人 鹿児島愛心会
事業所名	認知症対応型生活介護 グループホームあすか
所在地	鹿児島県奄美市名瀬大字西仲勝1199番地11 (電話) 0997-55-7155
自己評価作成日	平成25年9月30日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成25年11月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者の方々の認知症状を理解し、個々の利用者にあったサービスを提供し、和やかに日常生活が送れるように心がけています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・事業所はバス停や仕事・農作業などに行き交う道路に面して立地しており、地域との交流がしやすい。
- ・事業所の園庭は広々としており、笑運動会やゲーム・地域の人々との交流などが行われている。安全に杖が使用できるようホールのテーブルには職員の手製の杖入れを工夫して作り、利用者に喜ばれている。
- ・地域の授産施設が運営しているパンや野菜等の移動訪問販売等を受け入れて、利用者が販売員との会話を楽しみながら買い物ができるように支援を行っている。
- ・自立への支援として、日常生活の中でリハビリ体操や歩行訓練などを行っている。また、脳活性化も兼ね、古紙や古新聞紙を利用して手折りのクズ入れ箱を作り、事業所内の所々に置いている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	日曜日以外は毎朝、朝礼で理念を唱和し、意識づけを行っている。	2ユニット一緒の朝礼を行い、申し送り時に事業所独自の理念を唱和し、職員みんなで共有している。理念である地域との交流を常に意識づけ、実践にも繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域行事への参加や、自施設での行事の案内を行っている。又2か月に1回は奉仕作業を取り入れている。	学校の運動会や敬老会など地域行事に参加している。また、事業所の行事に地域住民を招待し、交流をしている。近所の住民から野菜などの差し入れなどもある。また、職員による地域内の道路清掃などの奉仕作業などを行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の学校からの施設見学や体験学習を受け入れ、認知症の人を理解して頂けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2か月に1回の会議を行い、入居者の情報を開示し意見やアドバイスを頂いています。</p>	<p>会議では、ホームや利用者の状況報告や外部評価結果報告等を行っている。地域との繋がりを積極的に持ちたいとの意見を受け、地域の代表にも会議のメンバーに入ってもらい、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>適時、行政と連絡を取り合って情報を頂いたりアドバイスを頂いている。</p>	<p>市担当者とは、利用者の状況をメールや電話等で報告し、情報を交換して指導やアドバイスももらっている。運営推進会議への参加もあり、現場での話し合いもでき、日頃から連携が取れている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束に関する内容を説明し、身体拘束をしないケアをしている。</p>	<p>身体拘束廃止について月1回の職員会議で研修を行っており、常日頃から具体的な行動や行為を認識している。日中の玄関の施錠は行っておらず、外出希望の利用者には、職員と一緒に付き添って散歩したり、気分を変える会話をを行う等、身体拘束を行わないケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止に関する内容を説明し、防止に努めている。又あざなどの打撲痕がある場合は原因などを把握し話し合いをしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在、制度の利用がなく実施していない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項や利用契約者の内容を説明し、疑問点については再度説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見箱を活用し、苦情等があった場合はすぐに対応するように心がけています。	利用者には、日頃から何でも言ってもらえるよう配慮している。家族には面会時に意見や要望を話しやすい雰囲気作り心がけ、話かけている。毎月利用者の状況を書面で報告し意見などをもらえるような依頼文も入れ込んでいる。電話でも個別の要望を聞き運営やサービスに活かしている。意見箱も設置している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	朝礼や月1回の会議などで職員の意見を聞いている。又半年に1回個別面談を実施し意見や要望を伺っています。	毎日の朝礼や月1回の職員会議で、意見やアイデア等を聞いている。個別面談で職員からの提案や意見などを聞き、スタッフ全員での草刈など運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	半年に1回人事考課を行い、職員の考えや仕事への取組みを実施しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的に、勉強会参加を促し資格等の案内をしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	今月9月から、グループホーム部会を開催し、意見交換を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用開始前に、本人やご家族と面談し情報を把握している。又利用開始時に再度情報を確認し、その情報を基にケアプランに反映できるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ケアプラン作成者が中心となり、本人さんやご家族さんに思いや意向を伺うようにしている。又職員も月1回は日々の様子を報告するなど、信頼関係作りを取り組んでいる。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用前に、身体状況や病状など把握し、必要なサービスを優先することに努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活において、洗濯したり掃除をしたりと本人の出来る所を活かし、出来ない所をスタッフと一緒にやっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	年間行事等を通じて家族の方たちと関わりを大切にし、情報共有し本人を支えていく。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に来て頂いたり、電話での会話を促したりしている。又、本人の希望する場所に外出したりしている。	親戚や友人等と連絡を取り合い馴染みの人へ電話での会話の支援を行っている。店での買物や本人の希望で自宅に訪問したり等の支援も行っている。理美容関係は2ヶ月1回訪問があるが、馴染みの美容室を希望する利用者には個別に対応し、場所や関係が途切れない支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションへの声掛けで職員を交え楽しめる機会を設けたり、利用者様の状況に応じて席替えなどを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了時に、今後いろいろな場面での相談に応じるよう説明している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者の担当者が意向の把握を引き出したりしている。	利用者とゆっくり話す機会を持ったり、朝の申し送り報告や業務日誌・気づきノート等から意向の把握に努めている。失語症等で把握が困難な場合は、日常の動作で把握したり、家族からも本人の思いを聞き取ったりして把握に努め、本人本位に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	情報提供書や計画書作成時にアセスメントにて把握するよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎朝、バイタルチェックや職員間の申し送り、経過記録にて把握している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者の担当者が意向の把握を引き出したりしている。又、課題や問題点が発生した場合は適時話し合いを行っている。	入居時に本人や家族から要望や希望を聞いたり、家族からは面会時に思いを聞き、介護計画を作成している。モニタリングは4ヶ月に1回行っているが、本人の身体状況に応じてその都度対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	個別に経過記録し、職員間で情報提供をしながら、必要時には見直しを行っている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	利用者が入院や緊急性を要する場合は、出来る限りに事は行っている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	地域の行事などに参加し、楽しい時間を過ごせるよう支援している。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	ご家族、本人の希望に沿った受診をしている。	本人のかかりつけ医の受診を支援している。受診は職員が支援しており変化があれば、即家族に報告している。報告は月1回の個人報告書で家族に伝えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日々の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>定期受診や訪問診療などで、疑問視される事があれば、相談し意見をもらうなど連携を図っています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>病院に連携室（相談窓口）があり入院した際は、定期的に情報の共有を行っています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合は方向性について、入所時に説明している。</p>	<p>入居の際の最初の話し合いの段階で、終末ケアは行ってない事や自力で口から食事ができない時は医療機関や該当する他の施設での対応となる事を説明している。入居中に身体的レベル低下などの変化がある時は、細目にわたり家族に連絡を入れ、対応を話し合っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>防砂訓練や心肺蘇生法の研修を定期的に施設で行い、緊急時に備えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防訓練や自主避難訓練を想定し訓練を行っている。又、避難場所を把握、移動時の安全の確保を把握している。	避難訓練は年2回、消防訓練は3ヶ月に1回行っている。夜間想定訓練も計画している。訓練時に地域の代表者にも協力ももらい、連絡体制や指定の避難場所まで確実な避難誘導ができるよう支援している。非常時の食料や飲料水等の備蓄も準備している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人一人一人の気持ちを大切に訴えに対して否定しないよう心掛けています。	排泄や入浴時のプライバシーに関しては、朝礼やその時々で管理者は職員に研修している。ケア提供時の職員の気になる言動に対しては、その時すぐに自分に置き換えて支援する等の指導や助言を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	言動に否定せず、傾聴しながら出来る事は実践している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースに合わせるよう努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の希望する服や化粧品を購入し外出する時など声掛けし促している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日々に会話の中で本人の好きな食べ物を聞き取り一緒に準備などできる事はしている。	食事前後に個々の力量を活かし、野菜の下ごしらえやお盆拭き等、職員と一緒にしている。時々、事業所内に野菜やパンなどの訪問販売があり、友達や職員等と一緒に好きなものを買って食べるのも楽しみの一つである。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食後、献立を記録している。又、食事量や水分量を記録し把握している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、声掛けし本人の状態に応じた支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的に声掛けし促している。又、下着の上げ下げなど過剰な介助はせず、残存機能を活かした支援をしている。	利用者それぞれの排泄パターンを把握して、朝・昼・夕・おやつ等の食後にトイレ誘導を行ったり、利用者からの声かけを受けてトイレ誘導を行う等の支援をしている。夜間帯は職員の見守りの中で利用者自身が起きてトイレで排泄を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	レクリエーションを取り入れ、適度な運動や水分を飲んで頂いている。又、排便の記録をし個々の利用者のパターンを把握している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は基本的に曜日を決めているが、本人の体調や希望により変更するなどの対応をしている。	週2回の入浴日に本人の好みのシャンプーやボディーソープを使用したり、入浴剤を入れ香りを楽しんだりしている。また、一番風呂の要望の利用者に対応し喜んでもらっている。入浴拒否の利用者には、きげんのいい時を見ながら入浴に誘い、体調不良時の利用者には状況に応じて清拭する等の支援も行っている	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	食後や本人の表情などを観察しながら、声掛けし休憩を促している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人のファイルに服薬の説明書があり、薬が処方されたときに確認し変更があれば職員へ伝達している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	レクリエーションや散歩、ドライブなどに出かけ、気分転換を図ったり本人の希望に沿うなど楽しく過ごしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	地域の行事や墓参りなど本人の希望に沿った外出をしている。又、家族様へ連絡し一緒に参加できる時は協力して頂いています。	日常的には体調や天候にあわせて散歩したり、受診の際に買い物に行ったりする等の支援を行っている。家族の所へドライブしたり、桜の花の咲く時期にお菓子を持ってドライブする等、支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人が管理できる方は、おこずかいとして所持している。又買い物に行きたいと要望がある場合は買い物に出かけている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人から希望がある時は、電話をするなど、好きな時に電話を掛ける事が出来るようにしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎朝掃除をし、居心地の良い空間を提供している。又、必要時には席替したり、季節に合った飾りつけなどして、季節感を取り入れている。</p>	<p>共用空間は明るく広く清潔である。テーブルやソファがあり、好みの場所でテレビ観賞やカラオケを楽しんでいる。廊下の壁には、ホーム便りや利用者の笑顔の写真などが掲示されている。職員手作りの日めくりカレンダーも掲げてある。ホールには色々の歌の本などを用意し、それぞれ好きな歌を友達と歌ったりしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	ソファや長椅子を設置し好きな時にくつろげる空間を作っている。			
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	本人の好きだった家具や椅子、家族の写真を飾ったりし本人の好きな空間を作るように心掛けています。	居室入口に職員手製の動物の折紙や貝殻、利用者の似顔絵や写真等を貼って一工夫した紙製の表札が掲げられている。室内は家具や家族写真・カレンダーを壁に飾ったり、仏壇に毎朝水をお供えして居心地よく過ごせるように工夫をしている。		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	廊下に手すりの設置するなど、導線上の確保に努めています。			

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
		○	3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない